

● 中国 徳 永 崇

概況。2023年初旬までコロナ第8波があるも、適宜感染拡大防止策を講じつつ、客席制限・演目内容共に概ねコロナ以前の状態を維持。さらに5月以降、新型コロナウイルスが第5類に指定されて以降は、少しずつではあるがマスク着用に対する雰囲気も緩和し、観客席からブラボーの歓声も聞かれるようになる。海外からの招聘も増加しつつある。

広島。広島交響楽団が創立60周年、プロ改組50周年を迎えた。著名な作曲家の生誕没後等に関連する曲を織り交ぜながら10回の定期を実施。まず1月の第427回定期はプロ改組50周年記念公演(指揮:下野竜也/バルトーク《青ひげ公の城》作品他)。チャイコフスキーの没後130年と五嶋みどりのデビュー40周年を記念しヴァイオリン協奏曲を披露した5月の第431回定期(指揮:下野竜也)、生誕190年のブラームスのヴァイオリン協奏曲を取り上げた6月の第432回定期(ヴァイオリン&コンサートマスター: Folkハルト・シュトイデ)は興味深かったが、生誕150年のラフマニノフのピアノ協奏曲については、2月の第428回定期で第3番(指揮:秋山和慶/ピアノ:三浦謙司)、7月の第433回定期で第1番(指揮:ジェームズ・フェデック/ピアノ:リーズ・ドゥ・ラ・サール)、12月の創立60周年記念第436回プレミアム定期で第2番(指揮:広上淳一/ピアノ:ニコライ・ルガンスキー)という徹底ぶり。特に第2番は好評。

定期以外の広響公演については、1・5・11月の名曲コンサートシリーズ「音楽の花束」でチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番などを披露。日本人作曲家の管弦楽曲の演奏機会も増え、2・6・9・11月に開催された「ディスカバリー・シリーズ」では、外山雄三、池辺晋一郎、尾高惇忠らの交響曲が取り上げられ、8月には「平和の夕べ」コンサートで生誕90年、没後10年の三善晃《夏の散乱》と嵯場富美子《未風化の7つの横顔》が演奏された。市民と広響が共演する「第九ひろしま」(中国放送主催)の合唱団員も昨年同様に公募され、指揮の沼尻竜典を招いて12月に実施。

海外からはベルリン交響楽団が6月にベートーヴェン《ピアノ協奏曲第5番》など(指揮:ハンスイェルク・シェレンベルガー/ピアノ:ビョートル・アレクセイヴィチ)、また、8月の「夏の第九」で読売交響楽団がモーツァルト《ピアノ協奏曲第24番》とベートーヴェン《交響曲第9番》を(指揮:アンドリス・ボーガ/ピアノ:牛田智大など)。

オペラ分野では、広島シティーオペラが《タンホイザー》を2月に(指揮/宮松重紀、演出/飯塚勲生)、広島オペラアンサンブルが6月に《ラ・ボエーム》、12月に《マダム・バタフライ》を(音楽監督・指揮:齊城英樹/演出:今井伸昭)。ひろしまオペラ・音楽推進委員会が《フィガロの結婚》を8月に(芸術監督・演出:岩田達彦/指揮:柴田真郁/管弦楽:広島交響楽団/合唱:ひろしまオペラネットワーク合唱団)。

現代音楽分野では、前述の広響公演で日本人作曲家の作品が演奏されたほか、細川俊夫音楽監督の「Happy New Ear」公演(9月)で、藤村実穂子(メゾ・ソプラノ)とヴォルフラム・リーガー(ピアノ)が細川《2つの子守唄》、マラー《さすらう若人の歌》などを好演。

福山。5月に国内外のオケなど複数団体による「ばらのまち福

山国際音楽祭」がリーデンローズ(福山芸術文化ホール)で開催され盛況(総合プロデューサー:池辺晋一郎/指揮:準・メルクル、尾高忠明、新田ユリ、ウー・ヤオユ/管弦楽:台湾フィルハーモニック、広島交響楽団など/ヴァイオリン:竹澤恭子、ピアノ:江口玲、マルティン・シュタットフェルト他/メンデルスゾーン《ヴァイオリン協奏曲》、ラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》他)。また同ホールが「若きヴィルトゥオーゾ・シリーズ」で小菅優、松田華音(ピアノ)、小林沙羅(ソプラノ)らを招聘。県外からは6月の東京フィルハーモニー交響楽団(指揮:尾高忠明/ピアノ:亀井聖矢/ラフマニノフ《ピアノ協奏曲第2番》)、9月の日本センチュリー交響楽団(指揮:飯森範親/チェロ:佐藤晴真/ドヴォルザーク《チェロ協奏曲》他)など。

三原。芸術文化センター・ポポロで、1月に反田恭平と務川慧悟の2台ピアノツアー。改修のため7月から12月下旬まで休館する間、近隣の公共施設を活かし各種公演を継続(7月の広響公演など)。廿日市。はつかいち文化ホールで、4月にアレクセイ・リュビモフのピアノリサイタル(ブラームス:七つの幻想曲など)、6月に「はつかいち室内合奏団」SA・KU・RA」公演(指揮:澤和樹/徳永崇《「萬歳楽」によるパラフレーズ》委嘱初演他)。

岡山。秋山和慶が岡山フィルハーモニック管弦楽団のミュージックアドバイザーに就任して2日目となる。1月のニューイヤークンサート(指揮:秋山和慶/喜歌劇《こうもり》ハイライトなど)を皮切りに、例年通り4回の定期公演を実施。ベートーヴェン《ヴァイオリン協奏曲》(第75回定期/指揮:山下一史/ヴァイオリン:黒川佑)、ベートーヴェン《交響曲第6番》(第76回定期/指揮:秋山和慶)、ラフマニノフ《パガニーニの主題による狂詩曲》(第77回定期/指揮:デリック・イノウエ/ピアノ:松本和将)、ドヴォルザーク《チェロ協奏曲》(第78回定期/指揮:秋山和慶/チェロ:佐藤晴真)など。名曲コンサートの他、12月には第九公演も。オペラ分野では、岡山芸術創造劇場ハレノワでポーロニヤ歌劇場の《トスカ》が11月、関西二期会の《カルメン》が12月に。

鳥根。鳥根県民会館で2月にしまね文化振興財団による《ラ・ボエーム》(演出:高島勲/指揮:水戸博之/管弦楽:山陰フィルハーモニー管弦楽団)、9月にしまねだんだんオペラ実行委員会による《カヴァレリア・ルスティカーナ》《道化師》など市民による草の根的なオペラ公演が活況。その他6月に広島交響楽団第30回鳥根定期演奏会(指揮:下野竜也/チェロ:マーティン・スタンツェライト/ドヴォルザーク《チェロ協奏曲》他)など。

山口。シンフォニア岩国で1月にオーケストラ・アンサンブル金沢公演(指揮:川瀬賢太郎/チェロ:宮田大/チャイコフスキー《ロココ風の主題による変奏曲》他)、4月に堤剛80歳記念チェロ・リサイタル(ピアノ:河村尚子/プロコフィエフ《チェロ・ソナタ》他)、9月に福岡洗太郎ピアノ・リサイタル(ラフマニノフ《ソナタ第2番》他)、12月にウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団(指揮:ミコラ・ジャジュラ/ヴァイオリン:村田夏帆/メンデルスゾーン《ヴァイオリン協奏曲》他)。秋吉台国際芸術村で9月に現代音楽の「秋吉台の軌跡」公演(湯浅譲二《内触覚的宇宙》他)。宇部市渡辺翁記念会館で10月に日本フィルハーモニー交響楽団公演(指揮:広上淳一/ヴァイオリン:荒井里桜/クライスラー《愛の悲しみ》他)など。

鳥取。とりぎん文化会館で3月に岡本誠司&反田恭平デュオコンサート(シューマン《ヴァイオリンソナタ第2番》他)、5月に澤和樹、アラン・ムニエ、蓼沼恵美子ピアノトリオコンサート(メンデルスゾーン《ピアノ三重奏曲第1番》他)、10月に新日本フィルハーモニー交響楽団公演(指揮:和田一樹/チャイコフスキー3大バレエ組曲より)など。